

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P22

主 な 取 組	学習の機会提供の充実						担当課	自己評価
							博物館	A
取 組 状 況	展示を通じて市民の学習活動を支援。講座の実施。ICTを活用した情報提供							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症の影響下での展示・講座の実施形態、整備された無線LANの活用検討							
令 和 4 年 度 実 績	常設展示室「入間の歴史」リニューアル、ALITお茶大学講座10講座実施							
指 標 及 び 説 明	【指標】博物館観覧者数				【説明】学習機会の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単 位	指 標 の 推 移		単 位				指 標 の 推 移
	人	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		23,027	平時					30,000
		R2 有事	19,032					R8 有事
5,122		暫定					10,000	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	開館以来初めての、学芸員の研究成果を生かした常設展示室の一部リニューアルを実施。ICTを活用したデジタル企画展「ALITむかしの道具ばこ」のインターネット公開。							
課 題 及 び 改 善 点	常設展示室の段階的なりニューアルの工事实施							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実		担当課	自己評価				
			図書館	A				
取 組 状 況	魅力ある図書館づくりを目指して、地域情報拠点機能の充実を図りながら、各世代の利用促進事業の充実に努めた。また、電子図書館サービスについて、来館の少ない10代後半から40代の子育て世代を中心とした電子書籍の収集に努めた。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	図書館入館者と貸出点数の増加を目指し、利用促進事業の充実を図ること。							
令 和 4 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者数 505,000人</li> <li>・移動図書館車の定期巡回(25か所)や野田中学校利用教室(令和4年度新規事業)による資料の提供や宮寺配本所おはなし会(令和4年度新規事業、参加者13名)による、地域情報拠点機能の充実</li> <li>・古典文学講座(参加者18名)や俳句ポスト(令和4年度新規事業)等による利用促進事業の開催</li> <li>・季節や時事問題等に合わせたテーマ本の展示(「ロシアとウクライナの絵本」、「滝口悠生さんの本」など)</li> <li>・読み聞かせ事業の運営に関わるボランティアの育成(月1回定例会等)</li> <li>・いるまし電子図書館による電子書籍の提供(蔵書点数3,478冊)</li> </ul>							
指 標 及 び 説 明	【指標】 入館者数		【説明】 図書館入館者数より学習機会提供の充実度を判断する。					
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		638,659	平時					720,000
		R2 有事	505,000					R8 有事
341,039						—		
自 己 評 価 の 主 な 理 由	<p>入館者数については、コロナ禍での短時間開館等を撤廃し、通常開館としたことで、前年度より増加した。入館者数のさらなる増加と夜間開館を周知するために、ポスターを作成し、公共施設等に掲示した。</p> <p>移動図書館車の巡回では、定期的な巡回に加え野田中学校の求めに応じ訪問し、貸出やレファレンス等を行い、学習機会の提供を図ることができた。また、宮寺配本所で初めてのおはなし会を実施し、親子で参加してもらうことで、宮寺地区の児童教育における地域情報拠点機能の充実を図った。</p> <p>利用促進事業では、コロナ禍においても感染対策を徹底し実施できるものについては可能な限り実施した。主に分館では、「本の帯大賞」「俳句ポスト」等の新規事業を開催することができた。非集合型の事業としても、「おすすめ絵本3冊セット貸出」等の実施で、学習機会の提供をすることができた。</p> <p>読み聞かせ事業の運営に関わるボランティアについては、新規の募集はできなかったが、既存のグループの定例会において、職員が読み聞かせの技術を指導したり、絵本を紹介したりすることにより、学習機会の提供、育成を図ることができた。</p> <p>電子図書館は来館することなく本の貸出・返却ができるため、有事際には大変有効な資料貸出し手段である。いるまし電子図書館では、蔵書の追加を行い、3,478冊を所蔵し、利用に供することができた。</p>							
課 題 及 び 改 善 点	入館者数について、さらなる増加に努める。また、電子図書館について、10代後半の利用が少ないことから、周知し利用増に努める。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実		担当課	自己評価				
			公民館	B				
取 組 状 況	暮らしを豊かにし、地域を活性化する学びの提供。住民の主体的な学びの支援。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	コロナ禍において、年間を通じて計画していた事業が実施できなかった。新たな事業展開を検討する必要がある。							
令 和 4 年 度 実 績	健康づくり、子育て、安心安全な暮らし、高齢社会、環境問題、人権問題、障害福祉、貧困問題、情報格差、伝統文化の継承をテーマとした学習事業を実施した。住民自主企画教室・講座等提案制度を創設した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 公民館基本計画で掲げた10の現代的課題をテーマとした学習事業の実績			【説明】 10の現代的課題をテーマとした学習事業バランスよく実施できたか否かで判断				
	単位	現状値	実 績 値				目標値	
指 標 の 推 移	テーマ	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	
		8	平時					R 8 平時
								10
		R 2 有事	9					R 8 有事
	4						5	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	公民館基本計画で掲げた10の現代的課題のうち9つのテーマは、多くの公民館で実施できたが、障害福祉については、全ての公民館が取り組んでいない。							
課 題 及 び 改 善 点	実施できていない障害福祉をテーマとした学習事業について、関係機関等との連携により、事業を企画していく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	資料の収集・提供		担当課	自己評価				
			博物館	A				
取 組 状 況	市民や関係団体と連携しながら資料を収集整理し、保存・情報提供。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	資料分野に対応した専門性を持つ学芸員の不足による業務の遅延。							
令 和 4 年 度 実 績	登録資料のうち区分が公開のものは今年度 2036 件（暫定）となっている。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 資料公開件数			【説明】 資料の収集・提供の充実度を判断				
	単位	現状値	実 績 値				目標値	
指 標 の 推 移	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	
		46,877	平時					R 8 平時
								53,900
		R 2 有事	52,655					R 8 有事
	47,737	暫定					-	
							-	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	単に公開件数増というだけでなく、展示ガイドアプリ向けの追加情報なども盛り込んだため。							
課 題 及 び 改 善 点	資料分野に対応した専門性を持つ学芸員の不足による業務の遅延。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P23

主な取組	資料の収集・提供		担当課	自己評価				
			図書館	A				
取組状況	各世代向けの図書資料の充実を図り、提供することにより地域の課題解決を支援した。							
前年度の課題・改善点	蔵書資料について、さらなる充実を目指す。							
令和4年度実績	図書等購入点数 一般書 約5,000冊、児童書 約3,000冊、参考図書 約150冊、大活字本 約100冊、視聴覚資料 約130点、視覚障害者向け録音図書(デージー図書)作製点数 5点、雑誌スポンサー制度による寄贈 35タイトル							
指標及び説明	【指標】図書館資料の所蔵点数		【指標】図書館資料の所蔵点数					
指標の推移	単位	現状値	実績値			目標値		
	点	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		579,430	平時					600,000
		R2有事	582,000					R8有事
582,693		600,000						
自己評価の主な理由	資料の充実については、適切な選書作業により、新刊および寄贈資料からの受入れを行い、さらに資料の除籍を併用して資料の更新を行い、資料点数が約585,000点となり、目標点数600,000点に近づくことができた。 図書については、市民からのリクエストにできる限り応えるほか、郷土資料、乳幼児や中高生向けの資料、多文化サービスに対応した資料などを様々な分野の資料を選書し、計画的な資料の収集と蔵書管理を行っている。							
課題及び改善点	限られた書架を魅力あるものとして維持するため、資料の適切な除籍を行うとともに、資料保存スペースを確保する必要がある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P23

主な取組	資料の収集・提供		担当課	自己評価				
			公民館	B				
取組状況	地域を活性化するための情報提供							
前年度の課題・改善点	コロナ禍における公民館だよりなど紙媒体での情報発信は、制限があり見直していく必要がある。ホームページやフェイスブックをより効果的に活用し情報発信していく必要がある。							
令和4年度実績	地域を活性化するために、公民館だより、掲示板やSNS等様々なメディアを通じて地域情報を発信した。各公民館内に「地域活動団体紹介コーナー」を新設した。							
指標及び説明	【指標】13館の公民館だよりの発行回数		【説明】公民館だより(ホームページへの掲載含む)で判断する。					
指標の推移	単位	現状値	実績値			目標値		
	回	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		156	平時					108
		R2有事	156					R8有事
156		108						
自己評価の主な理由	すべての公民館が公民館だより等で地域情報を発信した。また、団体紹介コーナーを設置した。							
課題及び改善点	公民館だより等で発信する地域情報量が少ない。4月からは9センターの「地区センターだより」で、内容及び情報量を高めていく。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P23

主な取組	社会教育に関する情報の提供		担当課	自己評価				
			博物館	A				
取組状況	ホームページ、SNSでの情報発信、メディア対応、指定管理者との連携で情報発信							
前年度の課題・改善点	更新の頻度向上と魅力的な内容の発信に努める							
令和4年度実績	ホームページアクセス数は社会教育施設で合算 R4年度のホームページアクセスは369,584件。ツイッターフォロワー541件。フェイスブックフォロワー470件。西洋館フェイスブックフォロワー777件。							
指標及び説明	【指標】ホームページ等へのアクセス件数	【説明】情報の提供の浸透度合いを判断						
指標の推移	単位	現状値	実績値			指標の推移		
	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		356,926	平時					380,000
		R2有事	371,372					R8有事
305,458		320,000						
自己評価の主な理由	博物館単体としてみるとアクセス数の増加、フォロワー数も増加している。							
課題及び改善点	より多くの市民に情報が届くよう、指定管理者とも協働で発信に努める。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P23

主な取組	社会教育に関する情報の提供		担当課	自己評価				
			図書館	A				
取組状況	図書館資料の最新情報等を図書館ホームページ、図書館だより、広報いるま等のさまざまな方法により、市民に、正確かつ迅速に伝えることに取り組んだ。							
前年度の課題・改善点	広報活動のさらなる充実を図る。							
令和4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館システム更新に伴う図書館公式ホームページの刷新（令和4年度新規事業）</li> <li>・図書館公式LINEアプリによる図書館情報の公開（令和4年度新規事業）</li> <li>・図書館だより“イベント版”の発行（令和4年度新規事業）</li> <li>・広報いるま「施設からのお知らせ」への図書館情報掲載</li> <li>・FM茶笛および入間ケーブルTVへの出演による図書館情報の提供</li> </ul>							
指標及び説明	【指標】ホームページへのアクセス件数	【説明】ホームページへのアクセス件数により、社会教育に関する情報提供の浸透度合いを判断する。						
指標の推移	単位	現状値	実績値			目標値		
	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		旧システムのため不明	平時					80,000
		R2有事	17,608					R8有事
旧システムのため不明		(1月~3月)	80,000					
自己評価の主な理由	図書館公式ホームページについては、刷新により、イベント情報が見やすくなったり、開館情報がわかりやすくなったりした。また、利用者メニューに返却お知らせメールなど便利な機能が導入されたことなどで、より様々な情報を提供できるようになった。また、LINE連携で、図書館の情報が簡単に提供できるようになった。							

課題及び改善点	図書館からの一方的な情報発信だけでなく、発信により市民同士あるいは市民と行政・民間業者がつながり、課題解決する仕組みを作り実践していく必要がある。
---------	---

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P23

主な取組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							公民館	B
取組状況	学習情報の提供							
前年度の課題・改善点	コロナ禍における公民館だよりなど紙媒体での情報発信は、制限があり見直していく必要がある。ホームページやフェイスブックをより効果的に活用し情報発信していく必要がある。							
令和4年度実績	公民館だより、掲示板やSNS等、様々なメディアを通じて学習情報を発信した。							
指標及び説明	【指標】ホームページへのアクセス件数				【説明】社会教育に関する情報の情報提供の浸透度合いを判断			
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	件	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		583,754	平時					632,000
		R2 有事	562,671					R8 有事
511,794							592,000	
自己評価の主な理由	ホームページへのアクセス件数は、562,671件であった。(R4:537,760件)							
課題及び改善点	回覧ができない状況である。公民館だより(地区センターだより)の配付・掲示方法を検討していく。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P23

主な取組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							青少年活動センター	C
取組状況	広報チラシの月次発行、SNSによる情報提供							
前年度の課題・改善点	インターネット等活用した施設・事業の周知に十分取り組めていない。							
令和4年度実績	チラシの月次発行、SNSの随時更新に加え、市公式ホームページの施設情報の内容を見直し、毎月更新とすることで情報提供の充実を図った。							
指標及び説明	【指標】年間来所者数				【説明】利用者の変化をPR効果と捉える			
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	人	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		25,490	平時					38,000
		R2 有事	16,000					R8 有事
7,625							9,000	
自己評価の主な理由	課題解決に向けた改善に取り組めた。							
課題及び改善点	施設利用・事業参加の促進を図るためにインターネットの更なる活用が必要。							

施 策	(1) 社会教育事業の充実					
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価		
施 策 評 価	学習機会提供の充実	博物館	A	B		
		図書館	A			
		公民館	B			
	資料の収集・提供	博物館	A			
		図書館	A			
		公民館	B			
	社会教育に関する情報の提供	博物館	A			
		図書館	A			
		公民館	B			
		青少年活動センター	C			
	学 識 経 験 者 意 見 等	<p>博物館においては、開館以来初めて学芸員の研究成果を生かした常設展示室の一部リニューアルを実施するなど、意欲的な取り組みが見られました。また ICT を活用したデジタル企画展「ALIT むかしの道具ばこ」をインターネット公開するなどして、来場しなくても情報提供できるような学習機会を充実させておられておられます。こういった取り組みは若い世代への訴求効果も大きく、ポストコロナにおいても、若年層の博物館への来場を促すコンテンツの一つとして活用が広がることを期待いたします。</p> <p>図書館においては、各種利用促進事業の実施やいるまし電子図書館での蔵書追加等を行い、入館者数3増加や電子図書館利用増を図っていることを高く評価いたします。</p> <p>公民館では、コロナ禍においても、公民館基本計画で掲げた10の現代的課題のうち9つの課題をテーマとした学習事業を積極的に実施され、現代的学習課題のテーマがバランスよく実施されております。</p> <p>資料の収集・提供については、取り組み状況及び自己評価ともに適切なものであったと思います。</p> <p>社会教育に関する情報の提供では、博物館、図書館、公民館、青少年活動センターの各施設とも、ホームページの充実、SNS の活用、広報やチラシ、公民館だより等の発行により、情報発信を充実させ、また各利用者年代にあわせて、利用しやすい媒体による情報提供に工夫されていることがよくわかります。青少年活動センターでは自己評価Cでしたが、課題解決に向けた改善にも真摯に取り組んでおられ、自己評価Bでも良かったのではないかと思います。</p>				

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P24

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							図書館	B
取 組 状 況	ブックスタート関連事業を中心とした子育て支援策を実施するとともに「おはなし会」や「おたのしみ会」などを通して、子育て、家庭教育力の向上を図った。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	ブックスタートについては、予算が確保できず、具体的な担当課や会議の予定も立っていない。							
令 和 4 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート関連事業として、「赤ちゃん向けブックリスト」を作成、配布(約1,000部)</li> <li>・「おはなし会」の実施(全館で約230回)</li> <li>・「おたのしみ会」の実施(全館で4回)</li> </ul>							
指 標 及 び 説 明	【指標】子育て・家庭教育事業の実施数				【説明】乳幼児の親を支援する「おはなし会」事業実施回数により、支援の充実度を判断。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		349	平時					350
		R2有事	230					R8有事
72		80						
自己評価の主な理由	<p>ブックスタート関連事業については、コロナ禍のため、BCG集団接種会場に出向いて話をすることはできなかったが、「赤ちゃん向け絵本ブックリスト」を作成し、配布した。</p> <p>おはなし会については、各館でボランティアの協力を得て、感染症対策を徹底しながら行った。会場や定員の制限はあったが、親子で参加する内容を多くすることで、乳幼児の親を支援する事業の充実を図った。</p> <p>また、コロナ禍で中止していた「おたのしみ会」を、感染症対策を徹底しながら実施した。親子で参加してもらうことで、乳幼児の親を支援することができた。</p>							
課題及び改善点	ブックスタート事業について、引き続き予算確保に努める。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P24

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							公民館	A
取 組 状 況	地域ぐるみの子ども・子育て支援の促進							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	地域で活動する団体と協力しながら、親子で参加できる事業を通して、親同士が交流できる場を提供していく必要がある。							
令 和 4 年 度 実 績	子育て・家庭教育支援事業を共催等で実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】子ども・子育て支援事業の数				【説明】事業数により支援の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		5	平時					30
		R2有事	27					R8有事
0		25						
自己評価の主な理由	13館すべての公民館で子育て・家庭教育支援事業を共催等で実施した。							
課題及び改善点	事業の内容の充実に努めていく。							



施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P24

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	B
取 組 状 況	おやこ森あそび（小学校プレ世代向け事業）の実施							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	特になし							
令 和 4 年 度 実 績	年9回開催							
指 標 及 び 説 明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		313	平時					300
		R2有事	200					R8有事
50		0						
自 己 評 価 の 主 な 理 由	感染症の影響は否めないものの、天候不良以外は当初の予定通り開催できた。							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラムとPR改善を図る。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P24

主 な 取 組	小中学校の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							社会教育課	A
取 組 状 況	PTA活動の活性化を図るため、家庭教育学級の企画運営、PTA広報紙発行の支援を行う。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	コロナ禍により飲食を伴う講座が実施できず、実施内容の見直しが必要である。							
令 和 4 年 度 実 績	可能な範囲で家庭教育学級を実施し、昨年度より実施回数が増加した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】家庭教育学級実施回数				【説明】家庭教育学級を実施した回数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	家庭教育学級を実施した回数	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		0	平時					78
		R2有事	66					R8有事
33		52						
自 己 評 価 の 主 な 理 由	昨年度実施回数33回に比べ2倍の実施回数となり、コロナ禍における家庭教育学級の実施対策や実施方法が定着してきた。							
課 題 及 び 改 善 点	コロナ禍によりPTA組織の中で、家庭教育学級を担当する組織が減少している。活動を継続していけるよう、回数の下限設定を決めないなど支援していく。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	小中学校の親を支援する事業の充実				担当課	自己評価	
					公民館	B	
取 組 状 況	親子と一緒に学ぶことができる体験事業を実施。						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	親と子の体験事業ではあるが、その親同士、子ども同士の交流も促進するような体験事業を企画、運営していく必要がある。						
令 和 4 年 度 実 績	親子と一緒に学ぶことができる体験事業を実施した。						
指 標 及 び 説 明	【指標】体験事業の数			【説明】事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8
		9	平時				
	R2有事	7					R8有事
5						7	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	親子と一緒に学ぶことができる体験事業を13館中、7館の公民館が実施した。						
課 題 及 び 改 善 点	実施できていない公民館では、夏休みや土日を利用して親子一緒に取り組む事業を計画する。						

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	小中学校の親を支援する事業の充実				担当課	自己評価	
					青少年活動センター	D	
取 組 状 況	取り組みなし						
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症の影響を踏まえた事業計画の検討。						
令 和 4 年 度 実 績	なし						
指 標 及 び 説 明	【指標】延べ参加者数			【説明】事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8
		0	平時				
	R2有事	0	0				R8有事
0						0	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	感染症への対応及び実施団体との調整が図れず、事業を実施できなかった。						
課 題 及 び 改 善 点	感染症等の影響を受けずに実施可能な事業の検討と多様な協力者・講師等の開拓。						

施策の体系] 4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							博物館	B
取 組 状 況	ボランティアとの連携事業、博学連携による博物館授業の実施							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症等の影響により、事業の中止・延期等も発生しており、事業の安定した実施が困難になっている。感染症等に影響されない事業の実施に向けた検討を進めていく。							
令 和 4 年 度 実 績	事業実施数は社会教育施設で合算 市内外小学校、市内中学校延べ57校4,498人に博物館授業実施。オンライン授業を試行。							
指 標 及 び 説 明	【指標】学校・家庭等と連携した事業数				【説明】学校・家庭等との連携の度合いを判断			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値					指 標 の 推 移
	事 業 数	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		69	平 時					70
		R 2 有 事	57					R 8 有 事
5							20	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	市内全校の博物館授業再開、ボランティア会の協力による事業（機織り体験、お手玉づくり教室、エントランスホールのまゆだま飾り）の実施による賑わい創出ができた。							
課 題 及 び 改 善 点	オンラインによる情報の提供方法について、より効果的な手法を検討していく必要がある。また、ボランティアとの連携においては、スタッフの減少が事業実施の課題となっている。							

施策の体系] 4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進			担当課	自己評価			
				図書館	A			
取 組 状 況	関連する市民団体や他の行政機関と連携・協力した事業を実施し、読書活動の推進を図った。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	学校・家庭・地域との連携を強化し、読書を通した子どもたちへの教育力の向上に努める。							
令 和 4 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館利用教室(小学2年生対象)の実施 実施数 16校 1,105人</li> <li>・図書館施設見学(小学3年生対象)の実施 実施数 16校 1,093人</li> <li>・学校図書館ボランティア育成のための研修会の開催。(参加者21名)</li> <li>・小学生向けのブックリスト「あれこれブックガイド」に加え中学生向けのブックリストも発行(令和4年度新規事業) 発行数 小学生 6,814部、中学生 3,563部</li> <li>・小学生を対象に「読書ラリー」を開催</li> <li>・移動図書館車の小学校への定期的な巡回(8校)</li> <li>・学童保育室や学校等への配本サービスの実施(40か所、延べ25,000冊)</li> <li>・市内高等学校との連携会議の実施(1回)</li> <li>・庁内各課との協力事業の実施(平和祈資料展、入間市自然展等で児童書の展示)</li> <li>・茶の都出前講座「読み聞かせ講座」の実施(5回)</li> </ul>							
指 標 及 び 説 明	【指標】学校・家庭・地域と連携した事業の実施数			【説明】学校・家庭・地域と連携した事業の実施数により、連携の度合いを判断する(図書館利用教室および図書館施設見学)				
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	校	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		31	平時					32
		R2有事	32					R8有事
0						-		
自 己 評 価 の 主 な 理 由	<p>コロナ禍で中止していた「図書館利用教室」、「図書館施設見学」、「学校図書館ボランティア研修会」等の事業では、感染症対策を徹底しながら実施することで、連携の促進をはかることができた。</p> <p>また、新たな事業として、「あれこれブックガイド 中学生向き」を発行し、中学校を通じて全生徒に配布し、学校との連携と読書活動の推進を図ることができた。</p>							
課 題 及 び 改 善 点	新たな連携先を模索することで、読書活動の推進を図る。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進		担当課	自己評価				
			公民館	B				
取 組 状 況	地域ぐるみの子ども・子育て支援の促進							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	コロナ禍において、計画していた様々な事業が、年間を通して実施できなかったため、新たな事業展開を図る必要がある。							
令 和 4 年 度 実 績	世代間交流事業、地域交流事業等を住民や団体と共催等で実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】世代間交流事業、地域交流事業等の数			【説明】事業数により充実度を判断				
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		8	平時					9
		R2有事	7					R8有事
1							7	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	代間交流事業、地域交流事業等を計画・実施した公民館は7館（未実施6館）							
課 題 及 び 改 善 点	コロナウイルス感染拡大により、多くの地域交流事業が中止されたままになっている。新たな交流事業の企画も含めて、地域の関係団体等と事業を計画していく。							

施策の体系] 4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進			担当課	自己評価			
				児童センター	B			
取 組 状 況	地域との連携を図るため、児童の健全育成を推進するボランティア会等と協働し、季節行事やクラブ・教室などを行っている。また、市内の様々な場所で子どもの遊ぶ環境を確保し、遊びを通じた活動を促進するため、遊び道具を積載するプレーカーを活用し、アウトリーチ事業を実施している。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	新型コロナウイルスの影響により、ボランティア会との協働事業の一部を実施することができなかった。次年度は感染防止対策を施しつつ、全ての事業を実施していきたい。プレーカーは導入されたばかりであるため、次年度に向けて活用の方策を検討したところである。							
令 和 4 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動（出張）児童館：プレーカーを活用し、市内の公民館や近隣の公園に出張し、地域の子どもたちに児童センターの事業の一部を提供する。11回（294人）</li> <li>・出張天体観望会：近隣の施設や小学校に出張し、望遠鏡を使って季節の星や惑星・月を観測する。5回（117人）</li> <li>・プレーカー貸出し事業：遊びを通じた活動等を行う市民団体を対象にプレーカーの貸し出しを行っている。20回</li> </ul>							
指 標 及 び 説 明	【指標】設定困難			【説明】－				
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	－	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		－	平時					－
		R 2 有事	－					R 8 有事
－							－	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	コロナ禍でありながら、ボランティア会との協働事業はすべて実施することができた。また、地域のNPOや企業などとも連携し新たな事業を実施することができた。一方プレーカーについても、出張児童館などを通じて、各地域に出向き遊びを展開することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	出張児童館については、人員の都合から十分な回数を実施することができていない。今後は、効率的な人員配置と事業の見直しを図り、全ての地区に出張児童館として出向いていきたい。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							青少年活動センター	B
取 組 状 況	むささび自習室スペシャルの実施							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症の影響や多様な組織、団体等との連携の不足から、事業規模が縮小している。							
令 和 4 年 度 実 績	8回実施							
指 標 及 び 説 明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		247	平時					250
		R2有事	150					R8有事
0						0		
自 己 評 価 の 主 な 理 由	断続的に感染症の拡大が見られたことで、事業参加者数に伸び悩みが見られた。							
課 題 及 び 改 善 点	感染症以降の事業のあり方を整理しつつ、内容についても見直しが必要。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	団体支援の充実						担当課	自己評価
							公民館	B
取 組 状 況	子育てサークル活動の場を提供するとともに、活動相談に応じる。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	地域で活動する団体と協力しながら、親子で参加できる事業を通して、親同士が交流できる場を提供していく必要がある。							
令 和 4 年 度 実 績	子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】子育て・家庭教育支援事業の数				【説明】事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	回	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		34	平時					50
		R2有事	48					R8有事
15						40		
自 己 評 価 の 主 な 理 由	子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じた公民館は4公民館							
課 題 及 び 改 善 点	子育てサークルが減少している。親子で参加できる事業等を通じて仲間づくりを促し、子育てサークルの誕生を応援していく。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	団体支援の充実				担当課	自己評価			
					青少年活動センター	A			
取 組 状 況	社会教育団体への補助金交付								
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	組織が縮小する中、活動の継続を図るために補助金交付にかかる積算方法の見直しが必要。								
令 和 4 年 度 実 績	1 団体（入間市子ども会育成会連絡協議会）に補助金を交付								
指 標 及 び 説 明	【指標】 会員数			【説明】 活動・事業実施の活動者数					
	単位	現状値	実 績 値			目標値			
指 標 の 推 移	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時	
		1,231	平時						800
		R 2 有事	811						R 8 有事
		966							800
自 己 評 価 の 主 な 理 由	助成制度を見直して少子化や感染症による活動の停滞化に対応し、事業実施を担保できた								
課 題 及 び 改 善 点	事業実施の継続性を確保し、活動の活性化を図ることが必要。								

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

施 策	(2) 家庭・地域の教育力の向上			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	乳幼児の親を支援する事業の充実	図書館	B	B
		公民館	A	
		青少年活動センター	B	
	小中学校の親を支援する事業の充実	社会教育課	A	
		公民館	B	
		青少年活動センター	D	
	学校・家庭・地域の連携の促進	博物館	B	
		図書館	A	
		公民館	B	
児童センター		B		
団体支援の充実	青少年活動センター	B		
	公民館	B		
学 識 経 験 者 意 見 等	<p>乳幼児の親を支援する事業の充実では、図書館での「おはなし会」「おたのしみ会」の実施、公民館での子育て支援事業の実施、青少年活動センターでのおよこ森あそびの実施等を積極的に展開しておられます。コロナの影響は乳幼児を抱える子育て家庭を孤立させる危険性もあり、そういったことを防ぐ意味でも、子育て家庭支援を着実に実施されていることに敬意を表します。</p> <p>小中学校の親を支援する事業の充実では家庭教育学級の実施や公民館でのおよこ体験事業を実施されていることを評価いたします。青少年活動センターでは、取り組みがなかったようですが、ポストコロナに向けて、青少年活動センターの環境、人的資源（ネットワーク）を活かした事業の実施を期待したいと思います。</p>			



学校・家庭・地域の連携の促進では、博物館における市内外小中学校との連携で、博物館授業やオンライン授業を実施されるなどの工夫により、事業数が平時に近い数値まで戻っており、コロナ禍における創意工夫が実を結んでいることが見てとれます。図書館では、「図書館利用教室」「図書館施設見学」「学校図書館ボランティア研修会」等の事業を実施し、学校との連携促進を図っておられることを評価いたします。公民館での世代間交流事業、地域交流事業等を住民や団体との共催等で推進しておられることを評価いたします。また、未実施館もあることから、ポストコロナに向けて、実施検討を進めていただくことを期待いたします。児童センターでのプレーカーを活用した移動（出張）児童館の実施やプレーカーの貸出し等、ユニークな取り組みを実施されており、今後の活用進展を期待いたします。青少年活動センターでのむささび自習室スペシャルの実施では、コロナ禍の影響を受けながらも事業実施を継続しておられることに敬意を表し、ポストコロナに向けて、事業の内容等について精査し、より効果的な事業運営となるようご検討いただくことを期待いたします。

団体支援の充実では、特に子育てサークルに活動の場を提供し、支援事業数が伸びていることを評価いたします。

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P26

主な取組	体験活動の機会提供				担当課	自己評価		
					青少年課	A		
取組状況	放課後子ども教室事業の実施(16校)							
前年度の課題・改善点	一体型放課後子ども教室の整備 ※「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」が同一の小中学校内の敷地で実施されるもの							
令和4年度実績	たかくら放課後子ども教室の一体化							
指標及び説明	【指標】一体型放課後子ども教室の開設数			【説明】安心・安全な活動拠点の確保				
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値	
	校	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		13	平時					15
		R2有事	15					R8有事
13		15						
自己評価の主な理由	令和4年度に高倉学童保育室及びたかくら放課後子ども教室を小中学校内に移転し、一体化を整備、児童の安心・安全が確保された。							
課題及び改善点	参加を希望する児童の落選者数を削減する。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P26

主な取組	体験活動の機会提供				担当課	自己評価		
					博物館	A		
取組状況	サイエンスパーク、夏休みこどもお茶大学、むかしのくらしと道具展他、博物館ならではの体験事業の実施							
前年度の課題・改善点	感染症等の影響により、事業の中止・延期等も発生しており、事業の安定した実施が困難になっている。感染症等に影響されない事業の実施に向けた検討を進めていく。							
令和4年度実績	実施数は社会教育施設で合算 夏休みこどもお茶大学再開。むかしのくらしと道具展での体験活動の一部再開(機織り、お手玉、お正月遊び等)							
指標及び説明	【指標】体験事業の実施数			【説明】体験活動の機会の充実度を判断				
指標の推移	単位	現状値	実績値				指標の推移	
	事業数	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		17	平時					15
		R2有事	12					R8有事
2		2						
自己評価の主な理由	感染症の影響下ではあるが、屋外での体験(お正月の遊び、「真冬の盆踊り」)、抗菌加工をした室内での体験学習(お手玉づくり、野田双子織育成講座、SMF連携ワークショップ)、エントランスホールや回廊等、屋内でも通気性の良い空間を使用した事業(機織り体験や「雛まつり茶会」)を実施。アフターコロナを考へての事業再開を果たし、どれも多くの参加者に恵まれ、市民の体験学習へのニーズを感じられた。							
課題及び改善点	感染症等に影響されない事業の実施							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P26

主な取組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							公民館	B
取組状況	青少年の創造性や協調性を育む体験事業、自己肯定感を高めるための社会奉仕体験事業を実施。							
前年度の課題・改善点	青少年体験事業は、地域のボランティアや関係団体との連携による事業の企画を引き続き実施していく。							
令和4年度実績	キッズアートギャラリー、工作教室、科学実験教室を実施。キッズアートギャラリー、文化祭、子ども食堂等で、ボランティア体験の機会を提供した。							
指標及び説明	【指標】体験事業の実施数				【説明】実施数により、体験活動の機会提供の充実度を判断			
	単位	現状値	実績値				目標値	
指標の推移	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		35	平時					50
		R2有事	41					R8有事
		5						40
自己評価の主な理由	全ての公民館で青少年の創造性や協調性を育む体験事業は実施している。一方、自己肯定感を高めるための社会奉仕体験事業を実施している公民館は少ない。							
課題及び改善点	様々な公民館事業において、青少年がボランティアを体験できるように工夫をしていく。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主な取組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							青少年活動センター	C
取組状況	七宝焼体験他芸術・文化・生活体験事業等の実施							
前年度の課題・改善点	感染症の影響による事業の中止、縮小からの再開に向けた工夫、配慮が必要。							
令和4年度実績	3事業、9回実施							
指標及び説明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による成果数			
	単位	現状値	実績値				目標値	
指標の推移	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		779	平時					1475
		R2有事	370					R8有事
		36						0
自己評価の主な理由	断続的に感染症の拡大が見られたことで、事業参加者数に伸び悩みが見られた。							
課題及び改善点	感染症以降の事業のあり方を整理しつつ、内容及び実施回数の増加が必要。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							公民館	A
取 組 状 況	青少年が学習等に利用できる「空き室開放事業」を通年で実施。また、春・夏休みには、「子ども居場所づくり事業」を実施							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	春・夏休み「子ども居場所づくり事業」の利用は減少傾向が見られたが、コロナ禍で外出や密を避ける意識が影響したものと考えられる。子どもの安全のための見守り方法が課題である。							
令 和 4 年 度 実 績	通年で「空き室解放事業」を実施し、児童が放課後に公民館に集う姿が見られた。春・夏休み「子ども居場所づくり事業」では、一部の公民館に置いて地域の方による見守り・協力の仕組みを実施できた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 こども居場所づくり事業の参加人数				【説明】 参加人数により居場所づくり事業の充実度を図る			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		980	平時					1,200
		R2有事	1070					R8有事
335							600	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	公民館と地域の方が連携して子どもの見守り等を実施できたことにより、事業の質や効果が高まった。地域の方が日頃の社会教育活動により身に着けた地域・技能を子どもに教える地域還元の間としても有効であった。							
課 題 及 び 改 善 点	子どもの安全のための見守り等は、今後さらに充実させる必要がある。施設全体のフリースペースが限られる中、安全な居場所づくりの工夫が求められている。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							図書館	B
取 組 状 況	青少年が気軽に利用できる環境を整えるとともに、青少年向けの資料の充実を図った。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	中高生が来館しやすい環境を整える。							
令 和 4 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・YAフリーボードの設置</li> <li>・試験前臨時学習室の実施</li> <li>・ティーンズコーナーの充実（ティーンズ書蔵書数14,921点）</li> </ul>							
指 標 及 び 説 明	【指標】 ティーンズ書の蔵書数				【説明】 ティーンズ書の蔵書数により居場所づくりの充実度を判断します。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	冊	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		12,927	平時					16,000
		R2有事	14,921					R8有事
13,160							16,000	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	主に分館で、青少年に向けたフリーボードの設置や試験前臨時学習室を実施することで青少年が来館しやすい環境を整えた。また、10代の発達段階に適した資料の収集を行い、ティーンズコーナーの充実を図った。コーナーでは、埼玉県立高校の司書が選んだイチオシ本を展示したりして、気軽に利用できる環境を整えた。							
課 題 及 び 改 善 点	青少年を対象とした居場所づくり事業を行うことができなかった。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	C
取 組 状 況	むささびひろばの実施、むささび自習室の他こどもの居場所事業(6事業)を委託して実施。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症下でも多様な利用が可能となるように施設内にWi-Fi環境を整備した。							
令 和 4 年 度 実 績	7事業、70回開催							
指 標 及 び 説 明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による成果数			
	単 位	現 状 値	実 績 値					目 標 値
指 標 の 推 移	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		3747	平時					3800
		R2有事	1000					R8有事
		521						550
自 己 評 価 の 主 な 理 由	断続的に感染症の拡大が見られたことで、事業参加者数に伸び悩みが見られた。							
課 題 及 び 改 善 点	感染症以降の事業のあり方を整理しつつ、内容及び実施回数の増加が必要。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	青少年関係団体の支援の充実						担当課	自己評価
							公民館	B
取 組 状 況	地域の青少年関係団体と関係機関等との連携を図る。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	少子高齢化に伴って地域の青少年関係団体の減少・活動の衰退が見られる。青少年関係団体の会員拡大や活動の活性化へ向けた積極的な取り組みが必要となっている。							
令 和 4 年 度 実 績	入間市中央少年少女合唱団との共催により「こども合唱教室」を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】連携事業の実施数				【説明】実施数により支援の充実度を判断			
	単 位	現 状 値	実 績 値					目 標 値
指 標 の 推 移	事業	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		1	平時					2
		R2有事	1					R8有事
		1						1
自 己 評 価 の 主 な 理 由	青少年関係団体の数そのものが減少している中ではあるが、連携事業の実施等の支援を継続することで会員数の増加が見られた。							
課 題 及 び 改 善 点	今後は新たな青少年関係団体の誕生に向けた支援を行う。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	青少年関係団体の支援の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
取 組 状 況	社会教育団体への補助金交付							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	なし							
令 和 4 年 度 実 績	2 団体（青少年相談員協議会・BSGS連絡協議会）に交付							
指 標 及 び 説 明	【指標】 構成員数				【説明】 活動・事業実施の活動者数			
	単位	現状値	実 績 値				目標値	
指 標 の 推 移	人	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		203	平時					200
		R2 有事	202					R8 有事
		209						200
自 己 評 価 の 主 な 理 由	構成員数はほぼ横ばいであり、活動の継続性が保たれている。							
課 題 及 び 改 善 点	少子化等による全体対象者数の減少への対応と活動の活性化。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P28

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課	自己評価
							博物館	A
取 組 状 況	高校生・大学生がボランティアとして活躍できる事業を実施し、育成する							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症等の影響により、事業の実施ができない状況が発生している。事業の再開や、実施の方法について、アフターコロナを見据えて検討を行っていく必要がある。							
令 和 4 年 度 実 績	学芸員実習生が展示解説の補助など来館者対応に取り組んだ（大学生5人）							
指 標 及 び 説 明	【指標】 事業への参加人数				【説明】 ボランティア等の育成状況を判断			
	単位	現状値	実 績 値				指標の推移	
指 標 の 推 移	人	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		1	平時					5
		R2 有事	5					R8 有事
		0						0
自 己 評 価 の 主 な 理 由	学芸員実習生は音声ガイドのデータ制作などで成果を残している。感染症の状況予測が立たず、事業実施が不確かな中で、従来行っていた「むかしのくらしと道具展」での学生ボランティア募集は出来なかったため							
課 題 及 び 改 善 点	これまでの実地によるもののほか、オンラインを活用した方法など、実施方法も検討していく必要がある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P28

主な取組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成		担当課	自己評価				
			公民館	B				
取組状況	子ども会のジュニアリーダー養成事業等を実施し、ボランティアの育成を図る。							
前年度の課題・改善点	夏休みに予定していたジュニアリーダー研修キャンプは、感染症の影響で実施できなかった。2年連続で中止となったため、ノウハウの蓄積がされなかった。							
令和4年度実績	金子ジュニアリーダー養成講座（金子公民館）、子ども会・ジュニアリーダー支援事業（高倉）を実施した。							
指標及び説明	【指標】ボランティア体験事業の参加人数		【説明】参加人数により、地域のボランティアや青年リーダー育成の進行度を判断					
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値	
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	
		83	平時					R8平時
		R2有事	246					R8有事
25		250						
自己評価の主な理由	金子ジュニアリーダー養成講座（金子公民館）には、延べ240人の中・高校生が、子ども会・ジュニアリーダー支援事業（高倉）には、延べ6人の中学生が参加した。							
課題及び改善点	子ども会が消滅していく中で、スタッフ、リーダー養成事業の実施そのものが困難になっている。市子連と今後の事業の在り方を検討していく。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P28

主な取組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成		担当課	自己評価				
			児童センター	B				
取組状況	児童の自主的な意見を運営に取り入れ、児童センターの運営や活動に生かすため、児童が意見を述べる場の提供を目的に、子ども運営ボランティア事業を開催している。また、ボランティアの育成を図ることを目的に、長期休業期間中において中学生ボランティアを募集している。							
前年度の課題・改善点	子ども運営ボランティアには近隣の小学生の児童が多いため、今後は広く市内各地域から参加者が集まるように広報活動などに努めたい。 中学生ボランティアは希望者が多くお断りする件数が多いため、今後は長期休業中以外もボランティアの機会を設けていきたい。							
令和4年度実績	・長期休業期間中における中学生ボランティアの参加人数：126人（36回） ・子ども運営ボランティアの参加人数：94人（6回）							
指標及び説明	【指標】ボランティア体験事業、リーダー養成事業の参加人数		【説明】参加人数により、ボランティアやリーダー育成の進行度を判断					
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値	
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	
		67	平時					R8平時
		R2有事	220					R8有事
34		50						
自己評価の主な理由	子ども運営ボランティアには、市内各地から26人の子どもが参加し、自主企画として「ハロウィンパーティー」を実施することができた。 また、長期休業中以外のボランティアの機会として、児童センターまつりでは近隣の中学校を対象にボランティアを募り、5名に参加していただいた。							
課題及び改善点	子ども運営ボランティア参加者内で当該事業に対する意識の差があるため、子どもたちの要望を踏まえて事業を実施していきたい。							

	小学生、中学生、高校生を対象に、子どもたちの意見を反映させられるような取組みを行っていききたい。
--	--

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成		担当課	自己評価				
			青少年活動センター	D				
取 組 状 況	なし							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	感染症の影響による事業の中止、縮小からの再開に向けた工夫、配慮が必要。							
令 和 4 年 度 実 績	なし							
指 標 及 び 説 明	【指標】 参加者数		【説明】 事業参加による人材育成を図る					
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値			目 標 値		
	人	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		114	平 時					100
		R 2 有 事	0					R 8 有 事
0							0	
自 己 評 価 の 主 な 理 由	感染症への対応にから事業実施を見送ったため。							
課 題 及 び 改 善 点	感染症以降の事業のあり方を整理しつつ、内容の見直しが必要。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

施 策	(3) 青少年教育の充実			
施 策 評 価	主 な 取 組	担 当 課	自 己 評 価	総 合 評 価
	体 験 活 動 の 機 会 提 供	青少年課	A	B
		博物館	A	
		公民館	B	
		青少年活動センター	C	
	居 場 所 づ け り の 充 実	公民館	A	
		図書館	B	
		青少年活動センター	C	
	青 少 年 関 係 団 体 の 支 援 の 充 実	公民館	B	
		青少年活動センター	A	
	青 少 年 関 係 団 体 を 対 象 に し た ス タ ッ フ 及 び リ ー ダ ー 養 成	博物館	A	
		公民館	B	
児童センター		B		
青少年活動センター		D		



<p>学 識 経 験 者 意 見 等</p>	<p>体験活動の機会提供においては、取り組み状況及び自己評価ともに適切であったと思います。特に、一体型放課後子ども教室の開設数が増え、子供達の安心・安全な活動拠点の確保につながっていることを高く評価いたします。</p> <p>居場所づくりの充実では、公民館、図書館、青少年活動センターともに、各施設事業での充実を図り、成果を上げられていることを評価いたします。青少年活動センターでは自己評価Cとなっているが、まだまだコロナの影響も残る中での事業実施であり、今後の参加者増を期待いたします。青少年の居場所づくりは、地域における青少年の健全育成の観点からも大変大切な施策課題だと考えます。コロナ禍でのさまざまな工夫を基礎として、さらなる充実を期待いたします。</p> <p>青少年関係団体の支援の充実については、取り組み状況及び自己評価ともに適切なものであったと思います。</p> <p>青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成では、博物館での学芸員実習生の受け入れ、公民館でのボランティア体験事業の参加者数、児童センターにおける中学生ボランティア、子ども運営ボランティア数がコロナ前の平時に比べても大きく伸びていることを評価いたします。</p>
----------------------------	--

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成  
支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	指定文化財等の保護						担当課	自己評価
							博物館	A
取 組 状 況	新たな指定文化財の指定に向けた取組みを行った。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	各分野の専門委員の意見をもとに調査・研究を行い、文化財の価値を高めることで、保存につなげていく。また、各種補助金、助成金の情報を適格に把握するとともに、保存が必要な事業に対しては、所有者等と緊密な連携を取ることで、適切な支援に努めていく。							
令 和 4 年 度 実 績	市文化財保護審議委員会において1件の文化財について、新規指定に向けた審議を行った。また、保存が必要な事業に対しては、補助金等を活用することで保存を図った。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 指定文化財等の件数				【説明】 貴重な文化財の保護状況を判断			
	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
指 標 の 推 移	件 (累計)	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		78	平 時					84
		R 2 有 事	79					R 8 有 事
		79						—
自 己 評 価 の 主 な 理 由	調査研究を通じて貴重な文化財の掘り起こすことで、将来に向けた保存につなげることができた。また、補助金については、国や県の補助金も活用することで、所有者等の負担軽減を図ることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	継続的な調査・研究により文化財の価値を掘り起こし、情報として発信していくことで、市民の方の文化財保護意識の向上につなげていく必要がある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P29

主な取組	文化財保護啓発事業の実施						担当課	自己評価
							博物館	B
取組状況	市民の郷土への理解を高めるために、身近な文化財を活かした事業を実施した。							
前年度の課題・改善点	感染症対策を講じながら、身近な文化財の紹介を通じて、日常的に文化財に親しむ環境を整備していく。また、公民館や図書館等と連携することで、より多くの市民に文化財に関心を持ってもらう場をつくり、文化財の保護啓発につなげていく必要がある。							
令和4年度実績	地区公民館との共催による文化財めぐりを2回、地域の大切な文化財を災害から守るための文化財防火訓練を1回、また講座などを2回実施し、延べ参加者は132名だった。							
指標及び説明	【指標】文化財保護啓発事業への参加人数				【説明】市民の文化財保護意識の高まりを判断			
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		149	平時					250
		R2有事	132					R8有事
95							120	
自己評価の主な理由	目標値にはまだ達しないが、地域の人々に身近な文化財を通して文化財保護に対する意識を持ってもらうことで、地域で文化財を守っていく気持ちを醸成することができた。							
課題及び改善点	様々な場面を捉えて身近な文化財の情報を発信し、市民の方々が日常的に文化財に親しむ環境を整備していく必要がある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P29

主な取組	近代化遺産の保存・活用						担当課	自己評価
							博物館	A
取組状況	旧石川組製糸西洋館及び旧黒須銀行の保存活用に向けた事業を実施した。							
前年度の課題・改善点	西洋館では、感染症対策を講じながら、一般公開や様々な事業を実施することで、継続的なPRと保護啓発を図っていく必要がある。また、旧黒須銀行については、復元改修工事の実現に向け、財源の確保や修復後の活用方法・運営方法を具体化していく必要がある。							
令和4年度実績	西洋館では、一般公開やイベントの実施により5,366名の来館者があった。また、旧黒須銀行では、特別公開等により1,071名の来館者があった。なお、旧黒須銀行では、次年度以降の復元改修工事に向け、保存活用の方向性の再検討や必要な財源の確保を図った。							
指標及び説明	【指標】西洋館・旧黒須銀行の来館者数				【説明】近代化遺産の活用状況を判断			
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		4,656	平時					8,000
		R2有事	6,437					R8有事
1,610							2,000	
自己評価の主な理由	西洋館では感染症対策を講じた中で、可能な限り一般公開やイベント等を実施していくことで、多くの方に西洋館の魅力を伝えることができた。旧黒須銀行では、文化財としての周知とともに、クラウドファンディングを実施し、目標額達成により財源を確保することができた。							
課題及び改善点	両施設とも今後も積極的に情報を発信するとともに、新たな魅力を掘り起こし伝えていくことで、将来にわたる保護保存につなげていく必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	埋蔵文化財の保護						担当課	自己評価
							博物館	A
取 組 状 況	埋蔵文化財の調査を実施し、報告書を刊行した。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	継続的に試掘・発掘調査等を実施していくことで、市内の埋蔵文化財の保護を図っていく。また、調査した遺跡等の情報を市民へ発信するように努める。							
令 和 4 年 度 実 績	埋蔵文化財包蔵地において開発に先立ち試掘調査を12件実施するとともに、調査結果をまとめた報告書を刊行し、埋蔵文化財の適切な保護を図ることができた。また、博物館の常設展示リニューアルに合わせて、発掘調査の成果が展示できるように工夫した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 埋蔵文化財の報告書刊行数				【説明】 埋蔵文化財の適切な保存状況を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	回 (累計)	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		4 0	平時					4 9
		R 2 有事	4 3					R 8 有事
4 1						—		
自 己 評 価 の 主 な 理 由	開発原因者との緊密な調整、調査への円滑な対応により、埋蔵文化財包蔵地における全ての開発行為に対して調査を実施し、報告書として記録保存することができた。また、最新の調査成果を発信できるような仕組みを整備することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	発掘調査に対応できる調査体制の整備（調査員の継続的な育成）が必要である。また、埋蔵文化財の価値・魅力を継続的に発信していく取り組みも必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	伝統文化活動団体の支援の充実						担当課	自己評価
							社会教育課	B
取 組 状 況	入間市郷土芸能連合会のうち、郷土芸能10団体へ助成金を分配した。							
前 年 度 の 課 題 ・ 改 善 点	新型コロナウイルスの影響により地域の祭りや、万燈まつりが中止となり、活動成果の発表の機会が減少した。							
令 和 4 年 度 実 績	入間市郷土芸能連合会のうち、博物館が管轄する指定無形民俗文化財以外の郷土芸能10団体へ助成金(1団体15,000円)を分配した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 会員数合計				【説明】 10団体の会員数の合計			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		4 0 0	平時					4 0 0
		R 2 有事	3 9 1					R 8 有事
3 9 6						4 0 0		
自 己 評 価 の 主 な 理 由	会員総数がわずかながら減少しているため。							
課 題 及 び 改 善 点	入間市郷土芸能連合会の会員総数はわずかながら減少しているため、引き続き助成を続けていく行く必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

施 策	(4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	指定文化財等の保護	博物館	A	B
	文化財保護啓発事業の実施	博物館	B	
	近代化遺産の保存・活用	博物館	A	
	埋蔵文化財の保護	博物館	A	
	伝統文化活動団体の支援の充実	社会教育課	B	
学 識 経 験 者 意 見 等	<p>指定文化財等の保護、文化財保護啓発事業の実施、近代化遺産の保存・活用、埋蔵文化財の保護、伝統文化活動団体の支援充実の各施策の取り組み状況及び自己評価ともに適切であったと考えます。</p>			

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主な取組	博物館施設の充実						担当課	自己評価
							博物館	B
取組状況	計画的な修繕を実施。館庭の活用方法検討と利用促進に取り組む。							
前年度の課題・改善点	経年劣化により修繕が必要な箇所が頻発しているが、財源が限られている。このため関係各課と連携を図ることで、計画的な施設の保全に努めていく。							
令和4年度実績	指定管理者の修繕料の範囲であるが迅速に修繕は対応できた。							
指標及び説明	【指標】市民意識調査の満足度				【説明】市民意識調査の結果から判断			
	単位	現状値	実績値					目標値
指標の推移	指数	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		0.197	平時					0.210
		R2有事	0.185					R8有事
		-					0.180	
自己評価の主な理由	修繕は予算の範囲内でのみの実施。館庭使用ガイドラインを策定。来年度4月から運用。							
課題及び改善点	経年劣化により建物や設備に不良や修繕が必要な箇所が多発している。全体的な改修が必要であるが、財源が限られていることから、優先度をつけて対応せざるを得ない状況にある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主な取組	図書館施設の充実						担当課	自己評価
							図書館	A
取組状況	図書館システムの更新を実施したほか、指定管理者及び各施設管理者と連携・協力して管理運営を行うとともに、十分な協議を行い、快適な読書環境の整備に努めた。							
前年度の課題・改善点	図書館内は経年劣化が激しいが、設備については、今後も更新を継続する。							
令和4年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館システムの更新 NEC Lic</li> <li>・全館の窓口に会話補助器「コミュニケーション」を設置</li> <li>・西武分館1階ブラウジングコーナー、2階参考資料室の空調設備工事を実施</li> </ul>							
指標及び説明	【指標】社会教育施設にする市民満足度				【説明】市民意識調査の結果から、施設の整備やサービスの充実が図られているかを判断する(施設の利用状況「利用している割合」)			
	単位	現状値	実績値					目標値
指標の推移	%	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		42.0	平時					45.0
		R2有事	37.9					R8有事
		-					30.0	
自己評価の主な理由	図書館システムを更新し、稼働することができた。新システムでは、フェリカやマイナンバーカードとの連携やセルフ貸出機も導入し、利用の充実を図った。また、窓口に「コミュニケーション」を設置することで、利用者との会話がスムーズになった。西武分館では、昨年度に引き続き空調設備工事を行い、快適な読書環境を整えることができた。							
課題及び改善点	西武分館の空調設備工事を継続するとともに、各館でも快適な読書環境の整備に努める。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主な取組	公民館施設の充実						担当課	自己評価
							公民館	B
取組状況	利用しやすい施設づくり							
前年度の課題・改善点	公共施設保全計画に沿って、限られた予算の中で、緊急性の高いものから順次を実施していく。バリアフリー化のとしてのトイレの洋式化を計画的に実施していく。							
令和4年度実績	空調設備修繕工事、トイレの洋式化(宮寺)、サンタリーボックスの設置(全館)							
指標及び説明	【指標】社会教育施設に対する市民満足度				【説明】市民意識調査の結果から判断			
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	満足度	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		0.291	平時					0.320
		R2有事	0.297					R8有事
-		0.300						
自己評価の主な理由	黒須公民館空調設備工事、東藤沢公民館空調設備工事、藤沢公民館図書館系統空調設備修繕など、必要な修繕、工事を実施した。							
課題及び改善点	本来は、設備が故障する前に保全修繕を実施する必要があるが、例年、修繕費予算の査定が大幅に削減されるため、設備が故障してからになってしまっている。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主な取組	青少年活動センター施設の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
取組状況	計画的な修繕の実施、野外体験施設の一部改修							
前年度の課題・改善点	利用者の安全確保の徹底と充当予算の効率的活用に向けた調整。							
令和4年度実績	炊事場、野外トイレの改修、施設管理用修繕							
指標及び説明	【指標】設定困難				【説明】-			
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	-	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		-	平時					-
		R2有事	-					R8有事
-		-						
自己評価の主な理由	老朽化した野外施設について、生活環境の変化を踏まえた仕様への改修に取り組めた。							
課題及び改善点	老朽化施設の安全性の確保と現代的な環境に見合った施設改修の実施							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

施 策	(1) 施設の充実・最適化			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	博物館施設の充実	博物館	B	B
	図書館施設の充実	図書館	A	
	公民館施設の充実	公民館	B	
青少年活動センター施設の充実	青少年活動センター	A		
学 識 経 験 者 意 見 等	<p>「博物館施設、図書館施設、公民館施設、青少年活動センター」の充実に向けて適切な対応と評価だったと考えます。</p>			